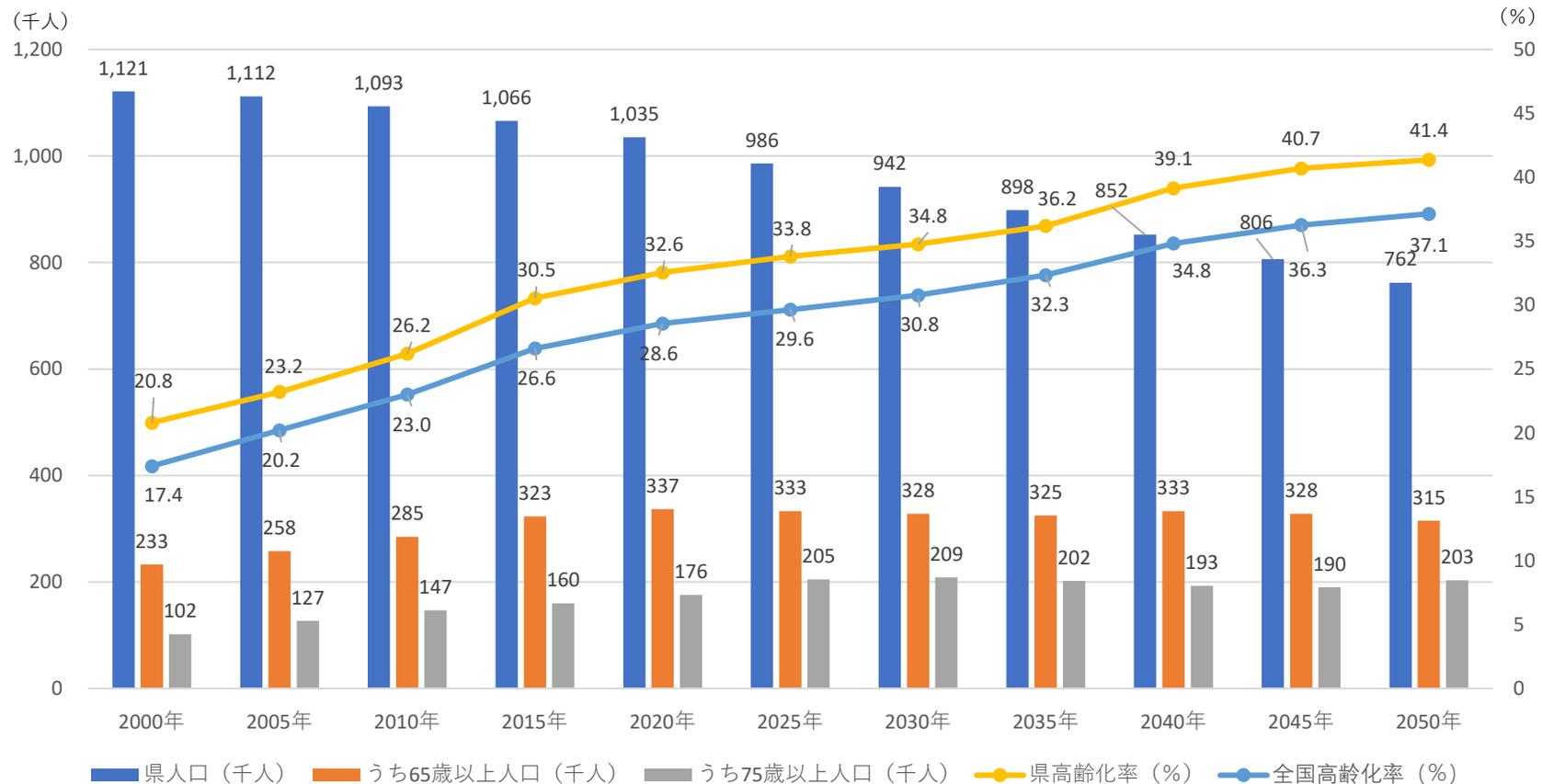


# 本県におけるがんの現状

# 富山県の人口と高齢化率の推移

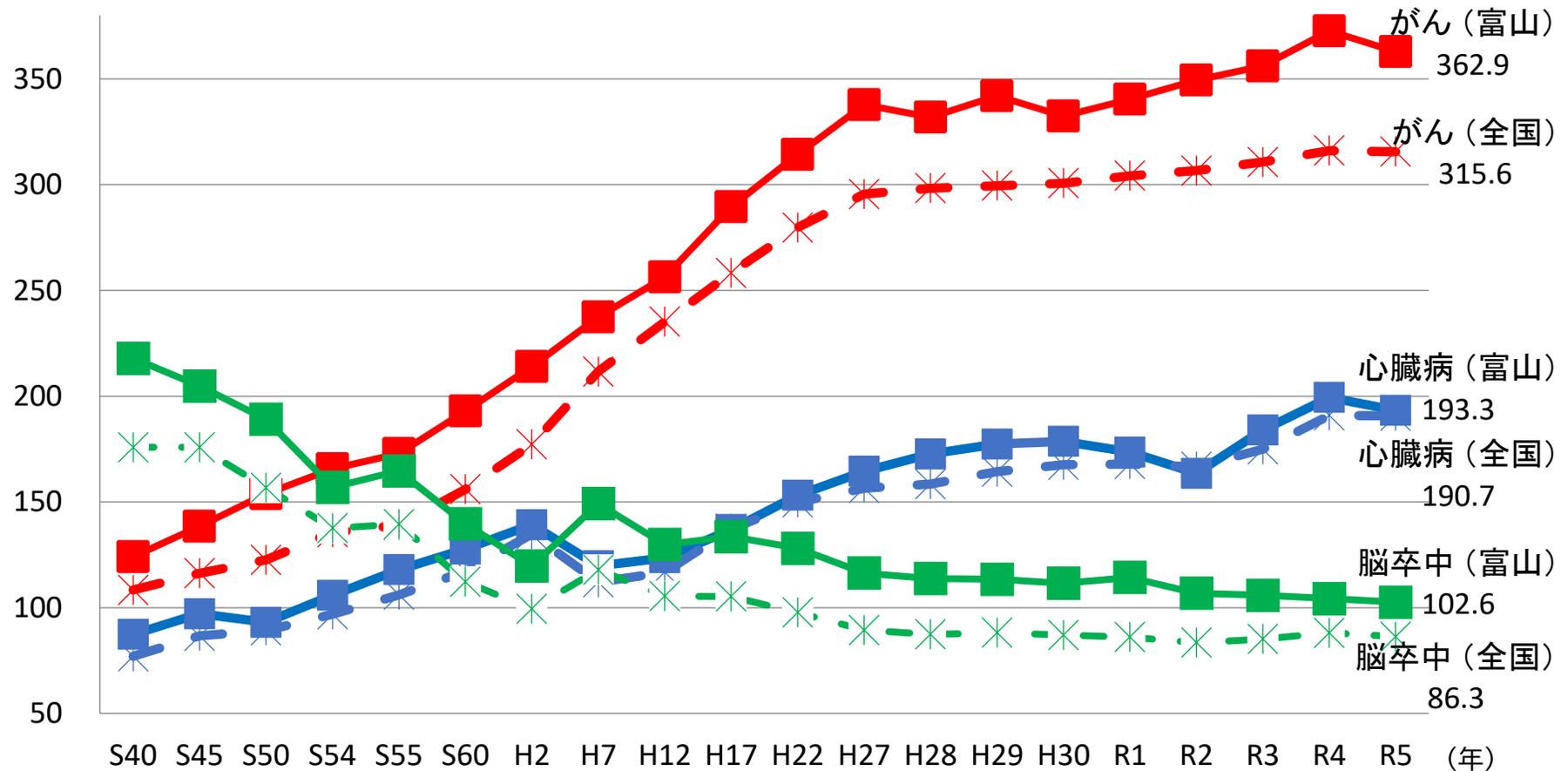
- 富山県の高齢化率は増加傾向にあり、本県の高齢化率は全国値より高く推移している。
- 今後も人口減少は続くが、高齢化率は上昇すると見込まれている。
- 医療・介護ニーズの高い75歳以上人口は、2030年頃にピークを迎える見込み。



〔資料〕 2015年までは国勢調査（総務省）（割合は、総人口から年齢不詳を除いて算出）  
 2020年以降は日本の地域別将来推計人口（2023（令和5）年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

# 富山県の主要死因別にみた粗死亡率(人口10万対)の推移

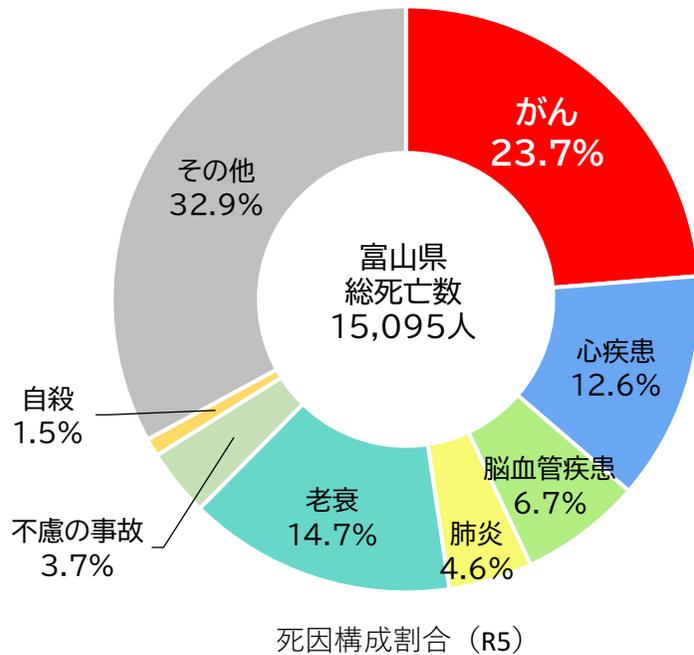
○富山県のがんによる死亡率(人口10万対)は、昭和54年に脳卒中を超え、**死因の第1位**となっており、その後増加している。



# 富山県の死亡原因におけるがんの割合①

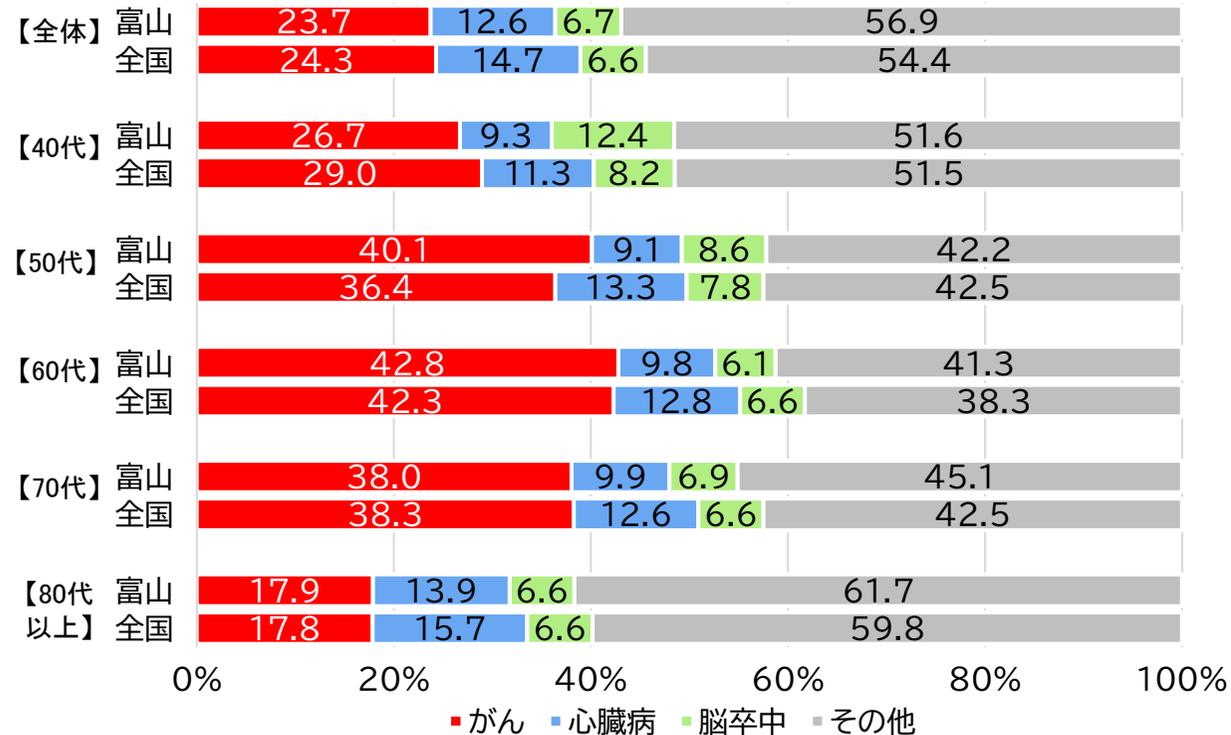
○富山県の総死亡数に占めるがんの割合は約4分の1となっており、年齢別に見ると、50歳、60歳代で約4割である。

主要な死因及びその構成割合 (R5)



出典：厚生労働省「人口動態統計」

年代別主要死因構成割合 (R5)



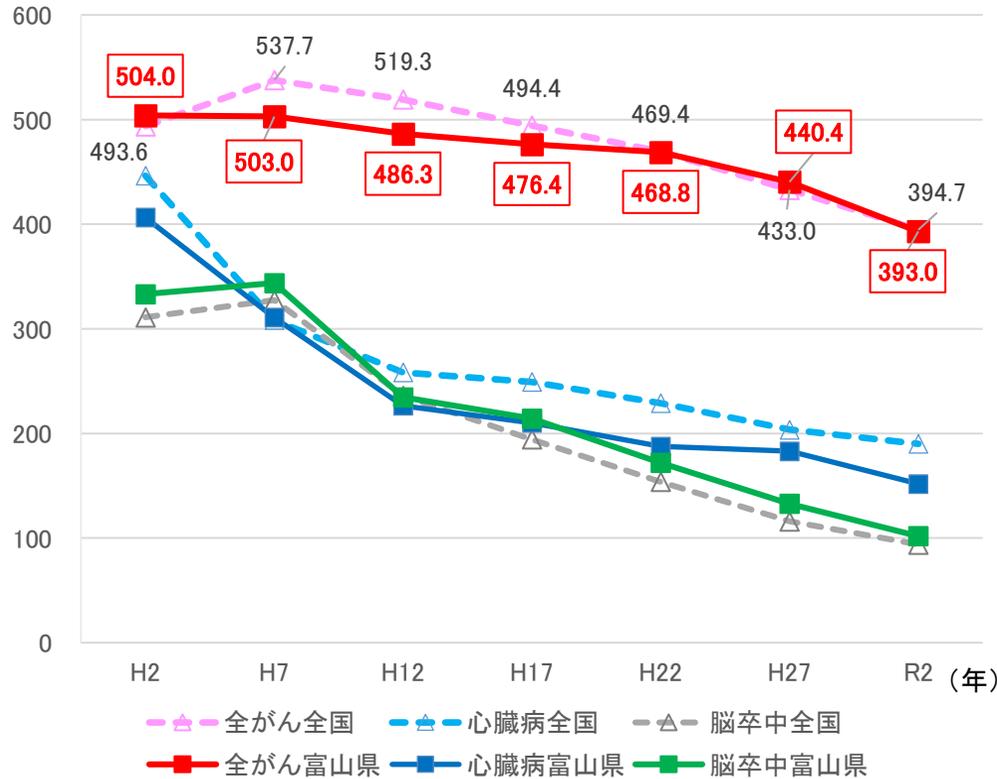
出典：厚生労働省「人口動態統計」

# 富山県の死亡原因におけるがんの割合②

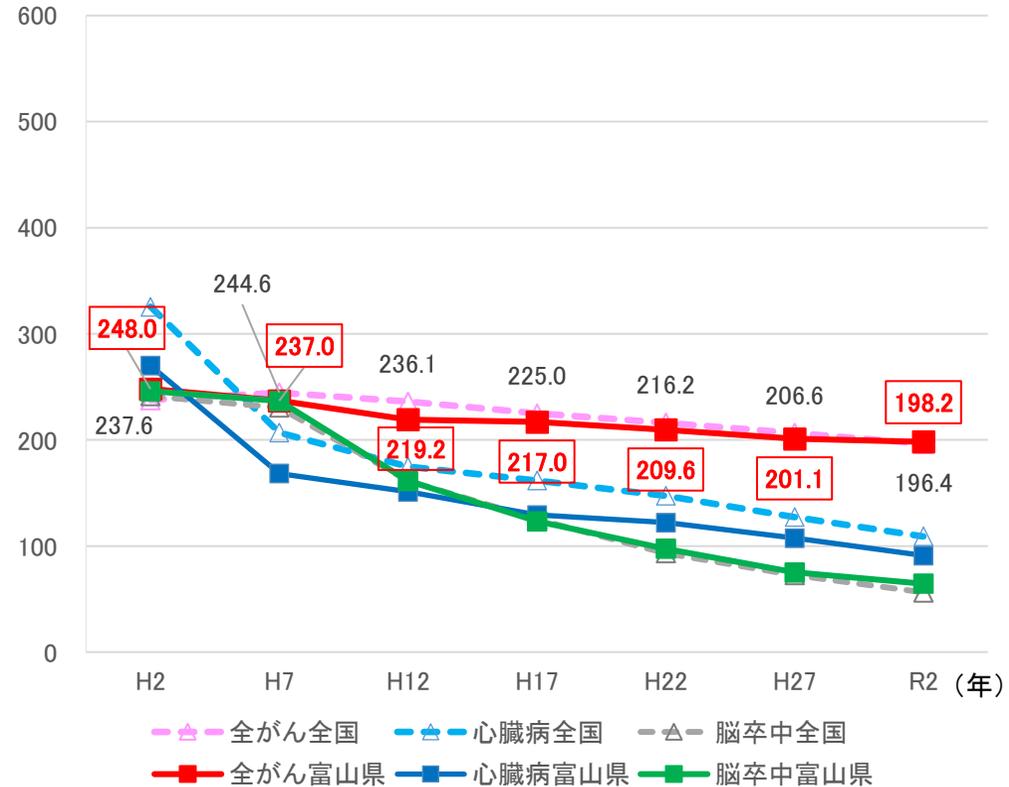
○男女ともに概ね減少傾向にある。

主要死因別年齢調整死亡率(人口10万対)の推移

男性



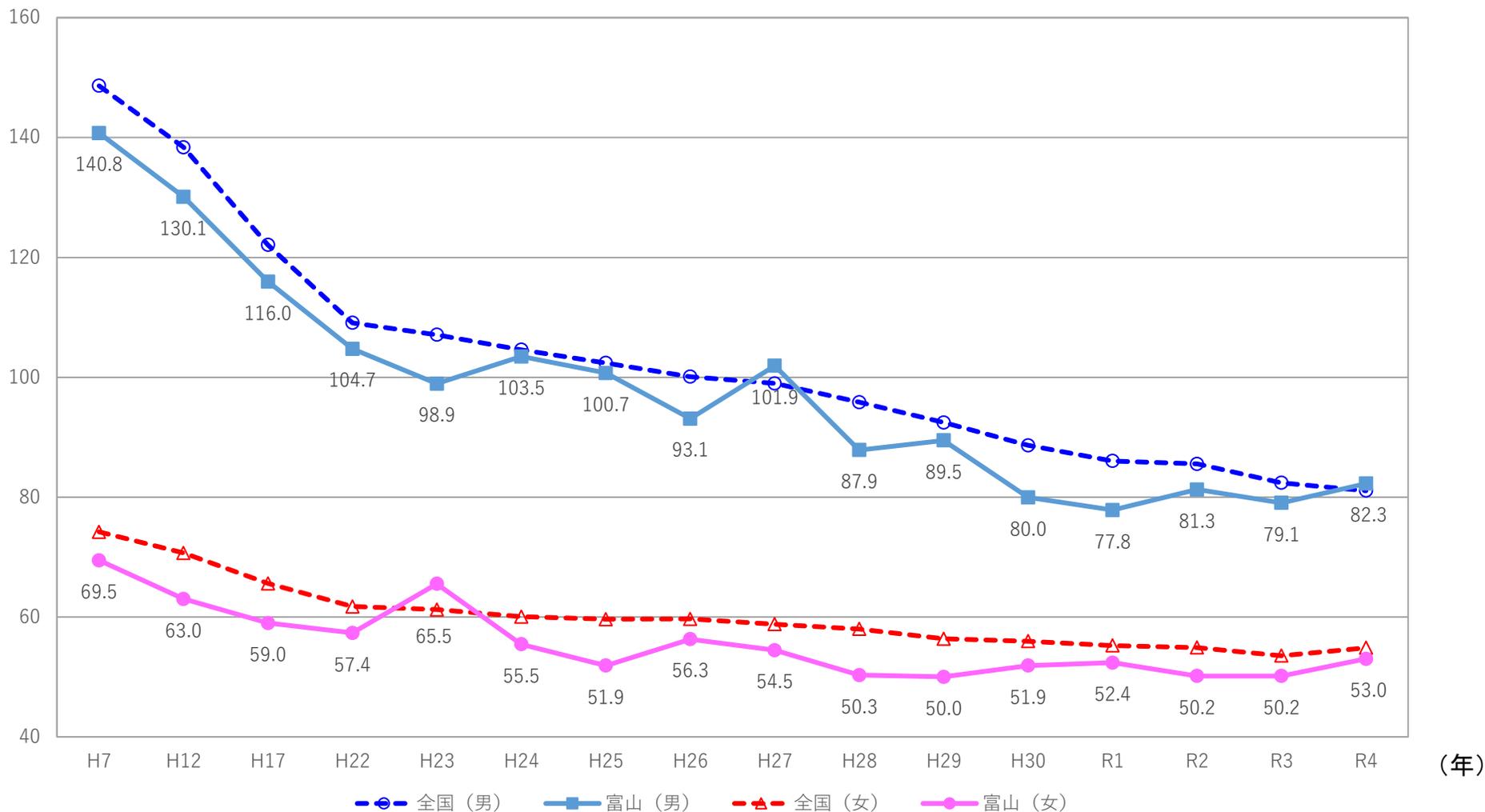
女性



出典：厚生労働省「人口動態統計」「人口動態特殊報告」

# 全がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）

○男女ともに概ね減少傾向にあるが、直近5年間は横ばいである。

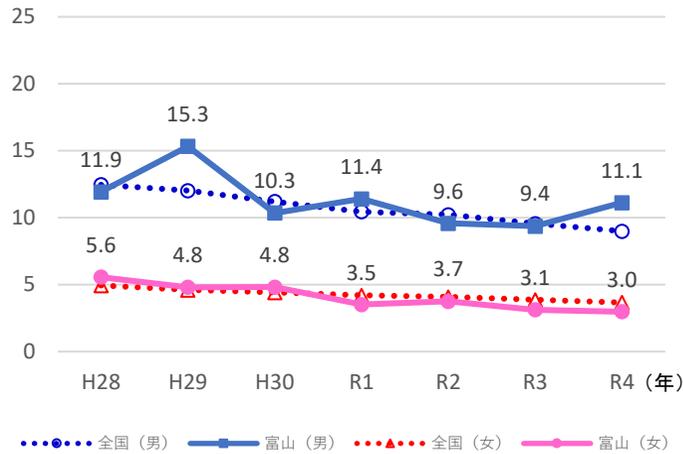


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

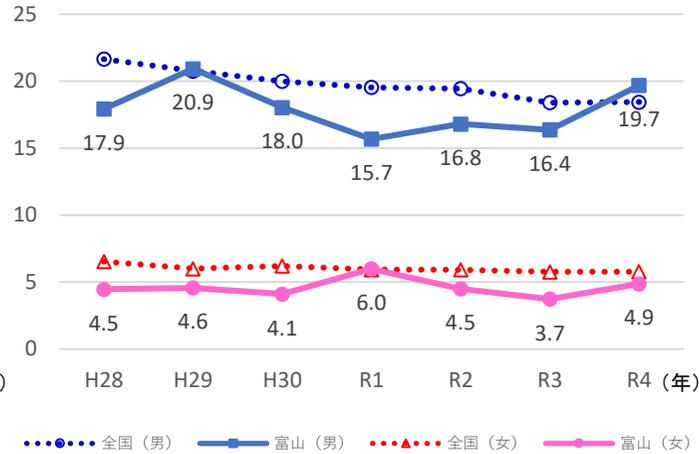
# がんの部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）

○男女ともにほとんどの部位において、概ね減少傾向にあるが、肺がんについては横ばい、子宮がんについては増加傾向にある。  
○男性では胃がん及び肺がんが、女性では子宮がんが全国値を上回っている。（R4）

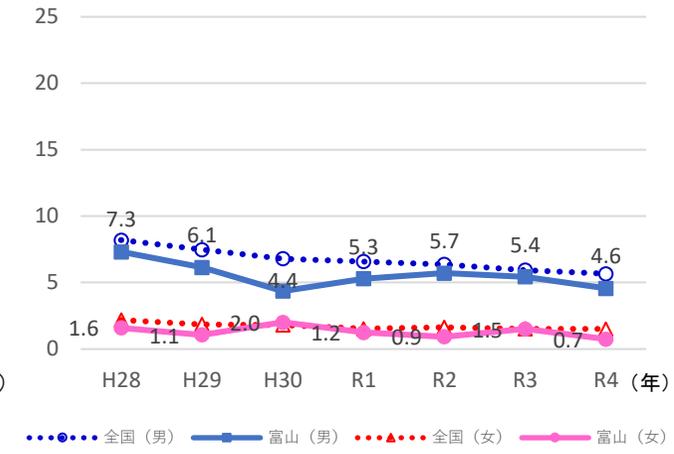
## 胃がん



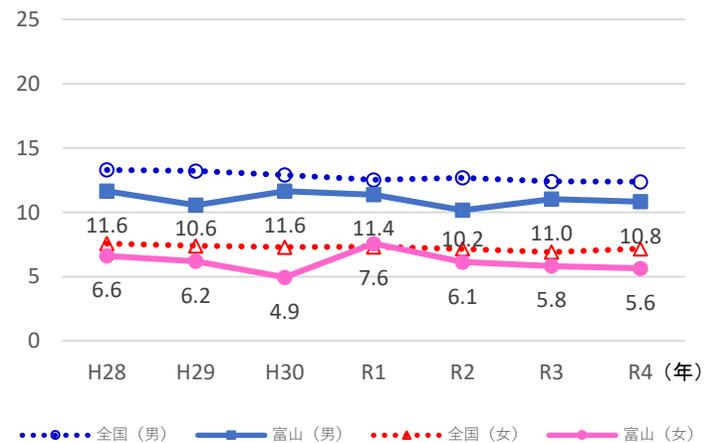
## 肺がん



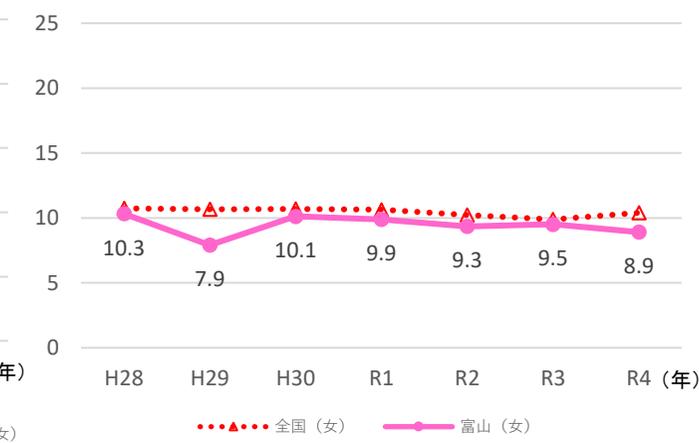
## 肝がん



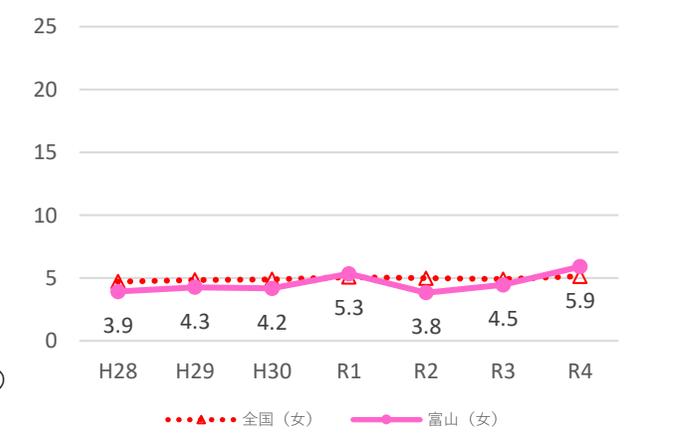
## 大腸がん



## 乳がん



## 子宮がん



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）  
(年)

# がんの部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）全国順位

○肝がん、大腸がんは男女とも全国上位に入っている（死亡率が低い）。（R4）

○男性では胃がん及び肺がんが、女性では子宮がんが全国下位である（死亡率が高い）。（R4）

R4	胃がん (男女計)	肺がん (男女計)	肝がん (男女計)	大腸がん (男女計)	乳がん (女)	子宮がん (女)
1位	沖縄県	長野県	石川県	滋賀県	島根県	徳島県
2位	山梨県	山梨県	福井県	岡山県	福井県	新潟県
3位	鹿児島県	岡山県	富山県	香川県	山形県	石川県
4位	熊本県	岐阜県	長野県	山形県	鳥取県	岩手県
5位	大分県	静岡県	滋賀県	富山県	三重県	長野県
富山県 順位	30位 〔男40位 女9位〕	29位 〔男37位 女12位〕	3位 〔男7位 女2位〕	5位 〔男7位 女5位〕	10位	38位
43位	愛媛県	鳥取県	福岡県	岩手県	群馬県	鳥取県
44位	鳥取県	高知県	高知県	北海道	長崎県	福島県
45位	青森県	大阪府	広島県	沖縄県	宮崎県	沖縄県
46位	山形県	北海道	長崎県	青森県	岩手県	宮崎県
47位	秋田県	青森県	宮崎県	秋田県	青森県	青森県

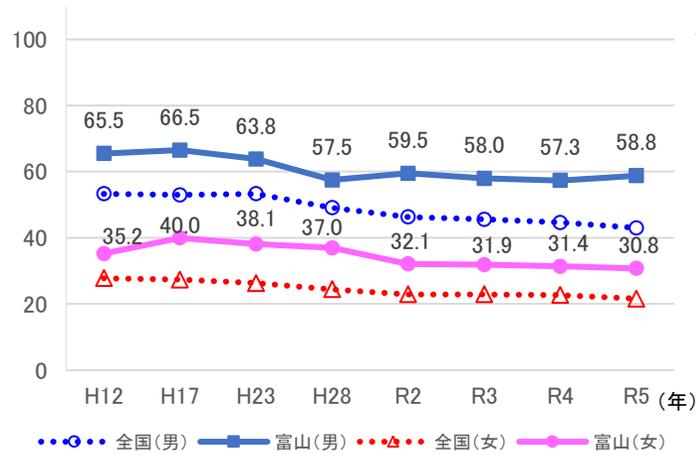


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

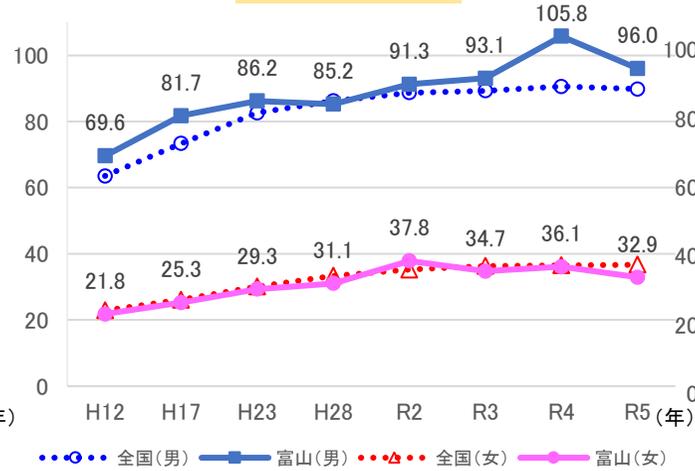
# がんの部位別粗死亡率（人口10万対）

- 男女ともに胃、大腸がんについて、全国値を大きく上回っている。
- 男性では肺がんが全国値を大きく上回っている。（R5）
- 肺、大腸、乳、子宮がんについて、増加傾向にあり、胃、肝がんについて減少傾向にある。

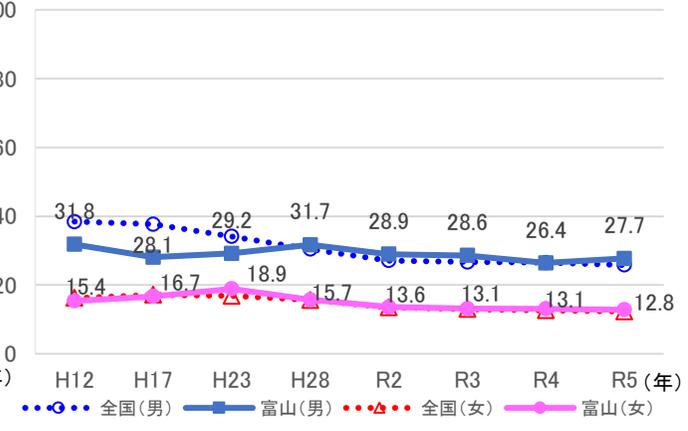
## 胃がん



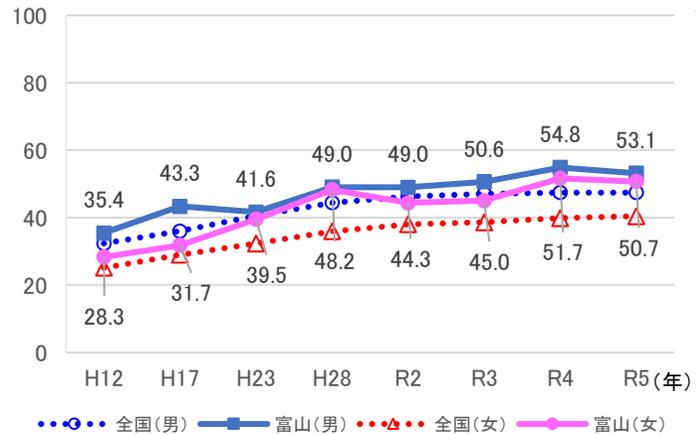
## 肺がん



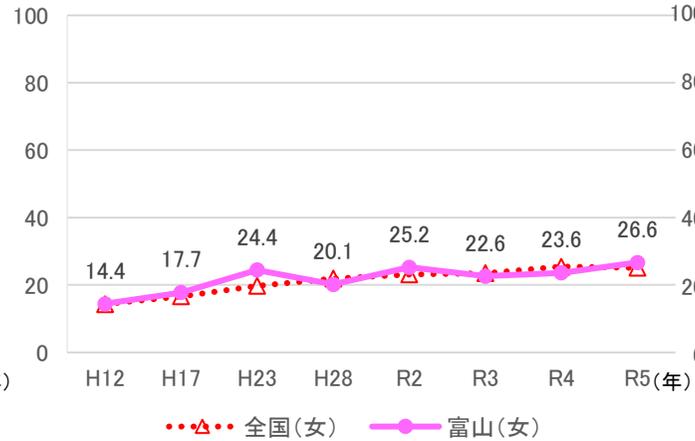
## 肝がん



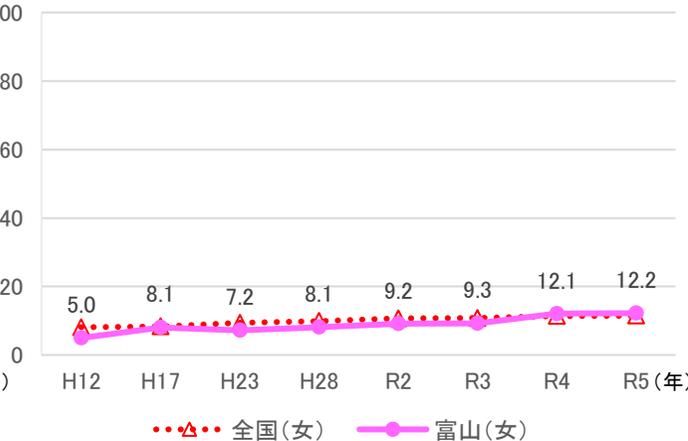
## 大腸がん



## 乳がん



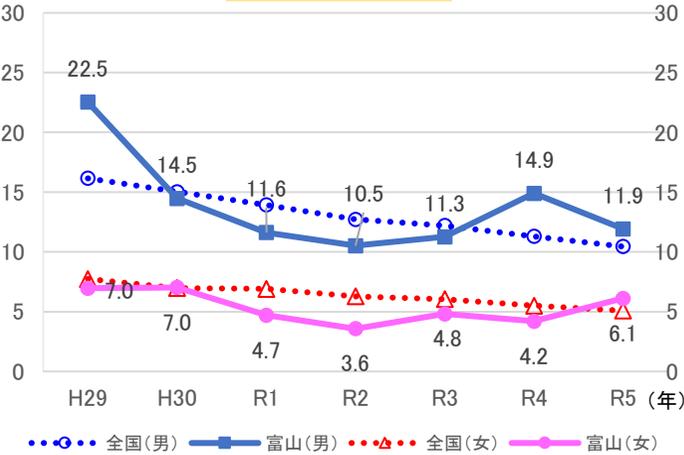
## 子宮がん



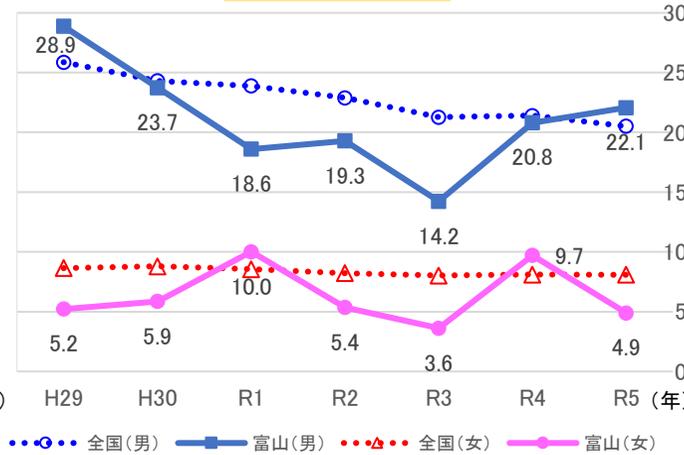
# 働く世代（40～64歳）のがん死亡率（人口10万対）

○男性は胃、肺、大腸がん、女性は胃、肝、子宮がんが全国値を上回っている。(R5)

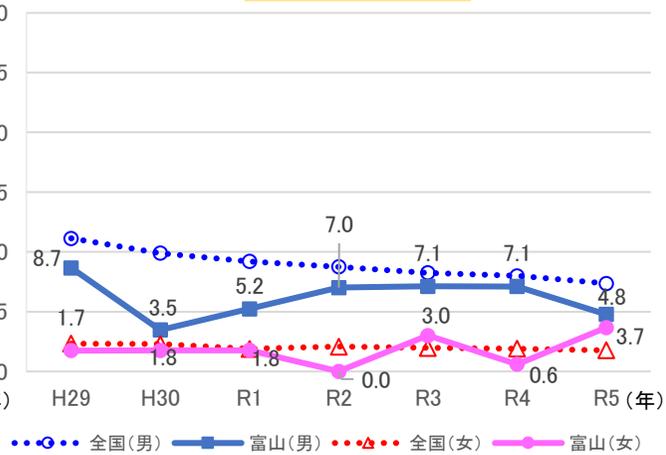
## 胃がん



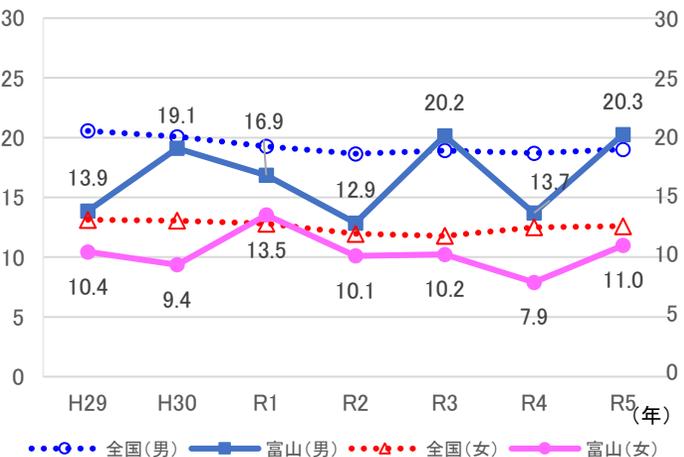
## 肺がん



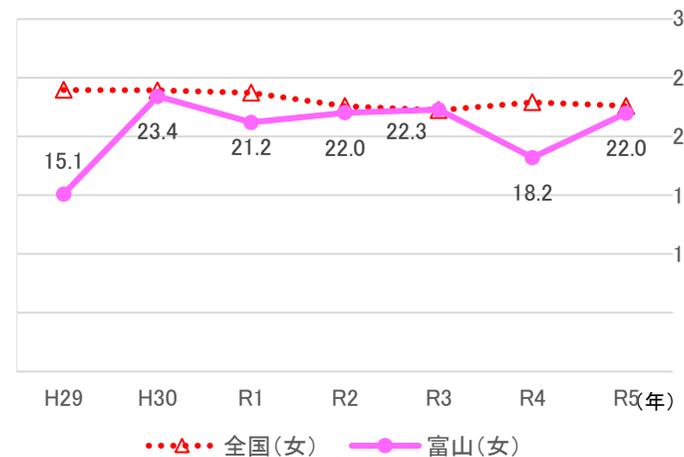
## 肝がん



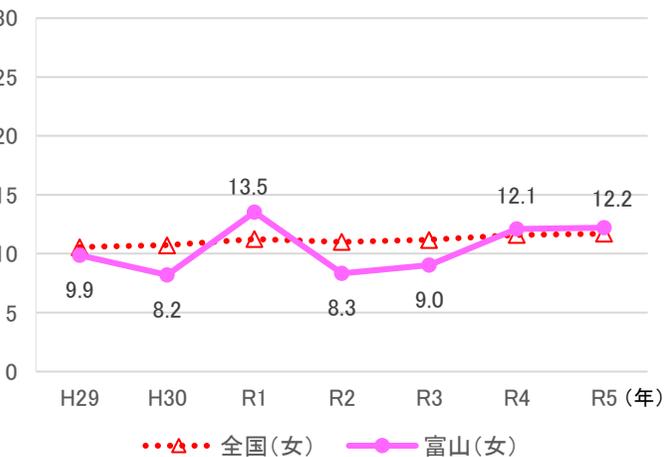
## 大腸がん



## 乳がん



## 子宮がん

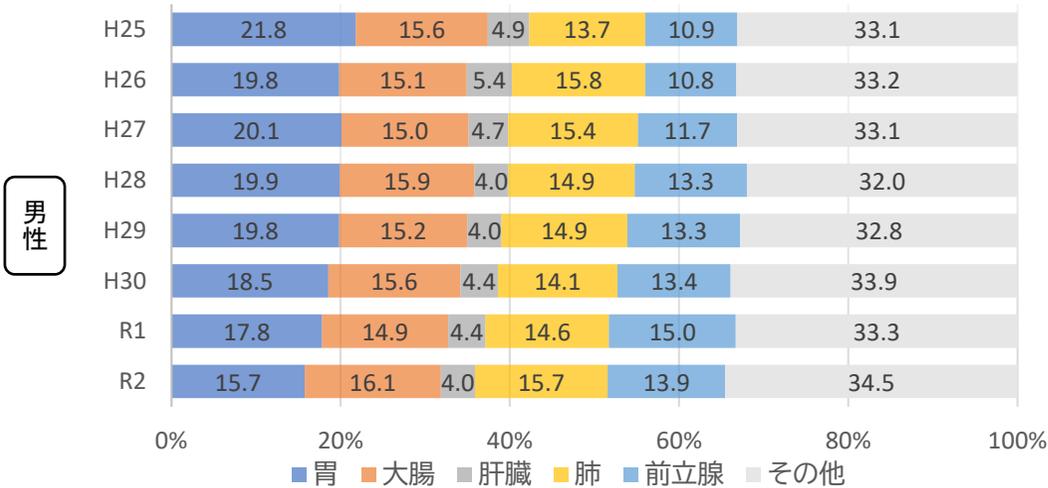


出典：厚生労働省「人口動態統計」

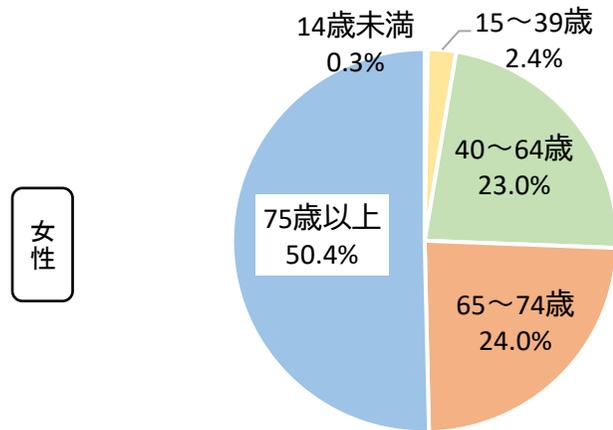
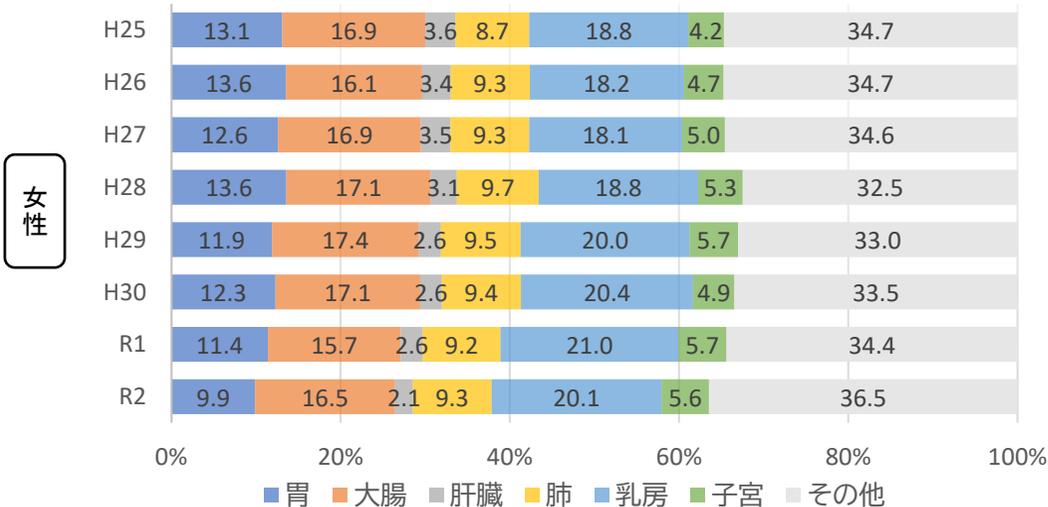
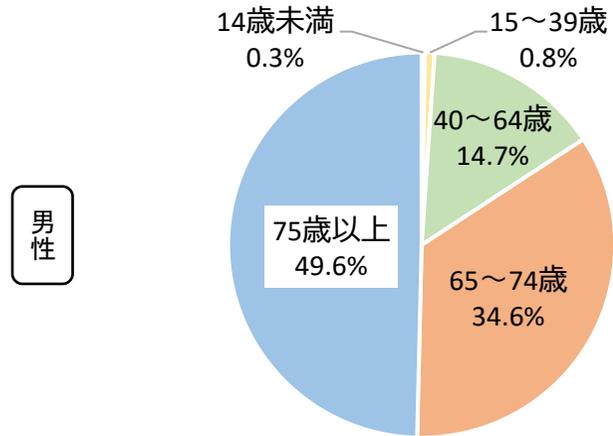
# 主要部位別がん罹患割合

- 男女ともに胃及び肝臓がんの割合は減少傾向にある。
- 年齢別にみると、男女とも75歳以上の割合が最も多く、次いで、65～74歳の割合が高い。

主要部位別がん罹患割合の推移



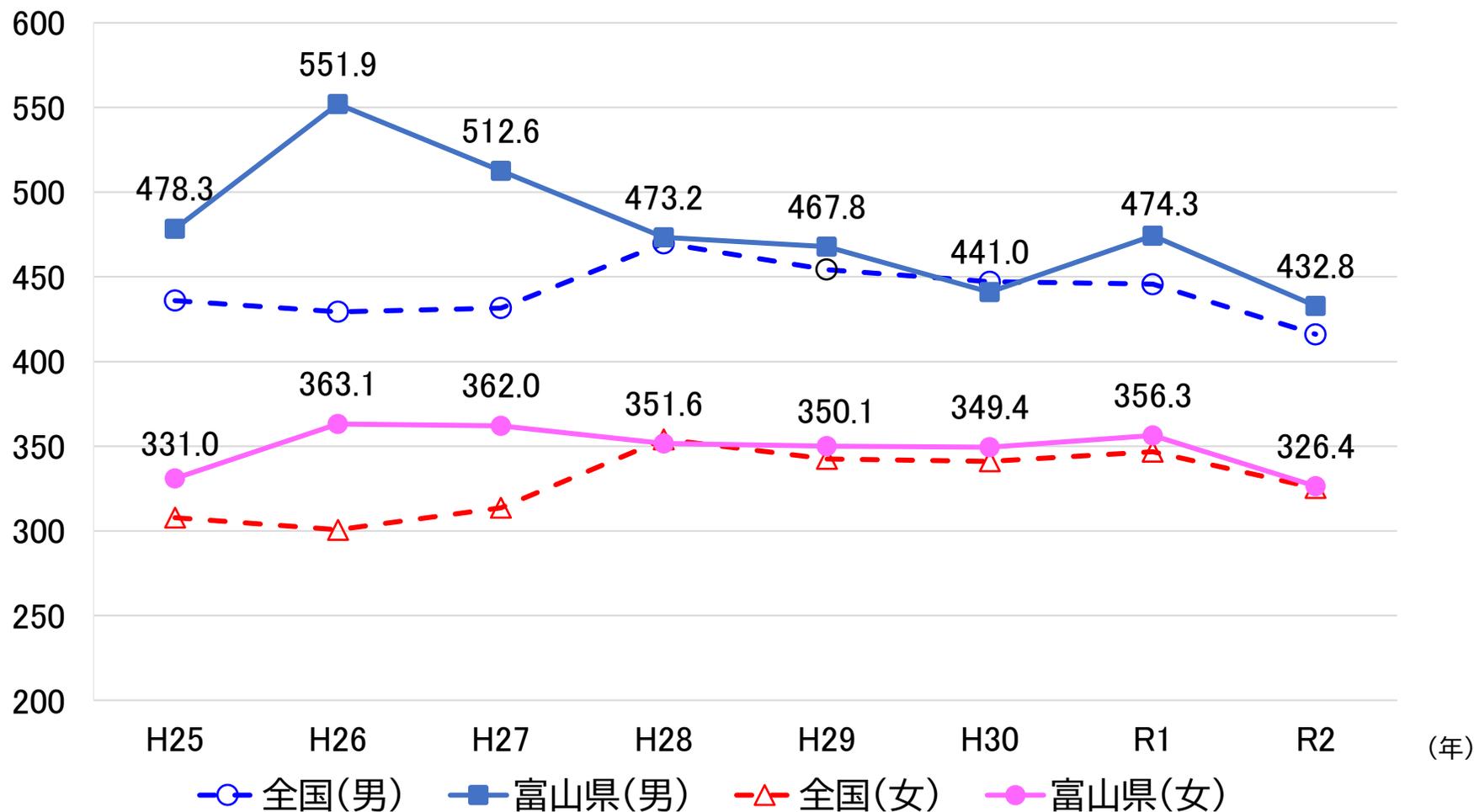
年齢別内訳(R2)



出典：全国モニタリング統計  
厚生労働省「全国がん登録罹患数・率報告」

# 全がんの年齢調整罹患率（人口10万対）

○男女ともに**全国値を上回っているが**、おおむね**減少傾向**にある。  
 ※平成28年1月より全国がん登録が開始（医療機関の届出が義務化）

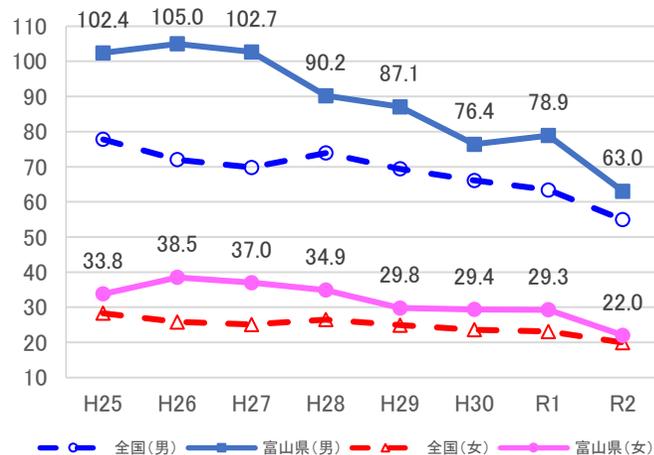


出典：全国がん罹患モニタリング集計  
 厚生労働省「全国がん登録罹患数・率報告」

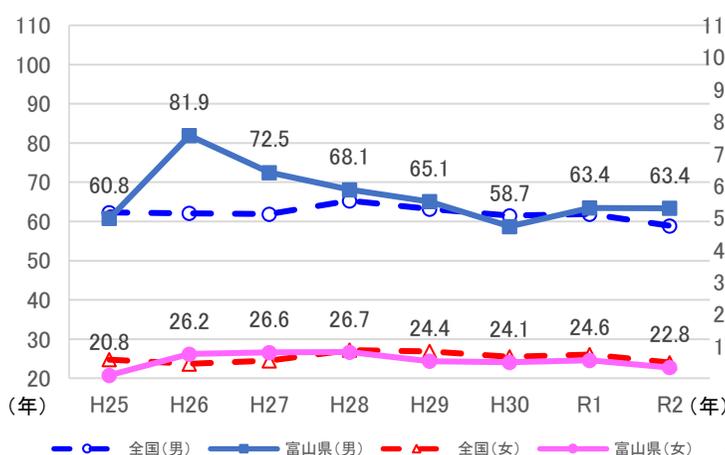
# がんの部位別年齢調整罹患率（人口10万対）

- 男女ともに**胃がん**において全国値を上回っている。
- 男性では、**肺がん**及び**大腸がん**において全国値を上回っている。(R4)
- 推移をみると、**胃がん**は減少傾向にあるが、**肺**、**肝**、**大腸**、**乳がん**は横ばいであり、**子宮がん**は増加傾向にある。

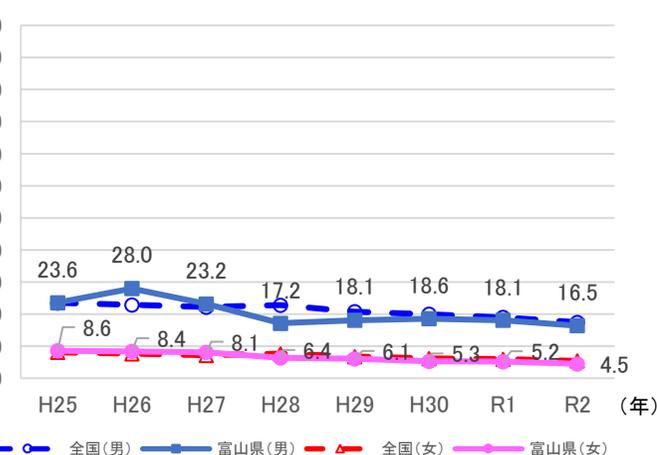
胃がん



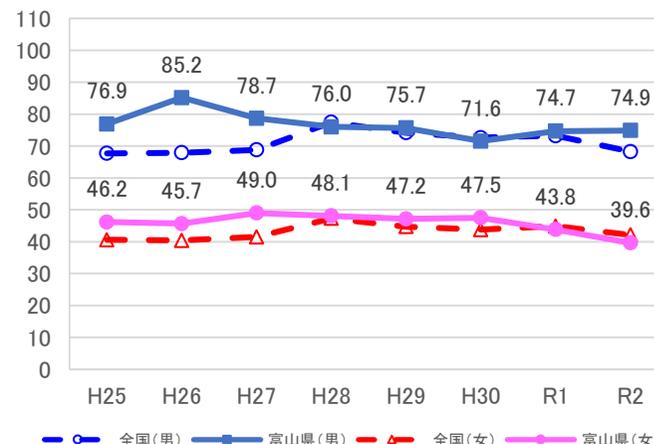
肺がん



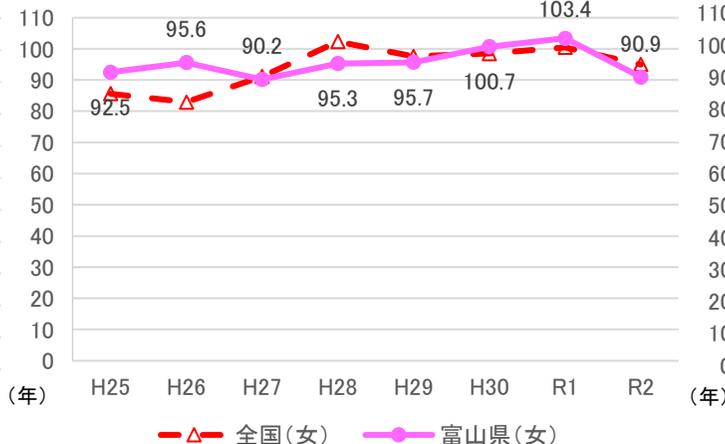
肝がん



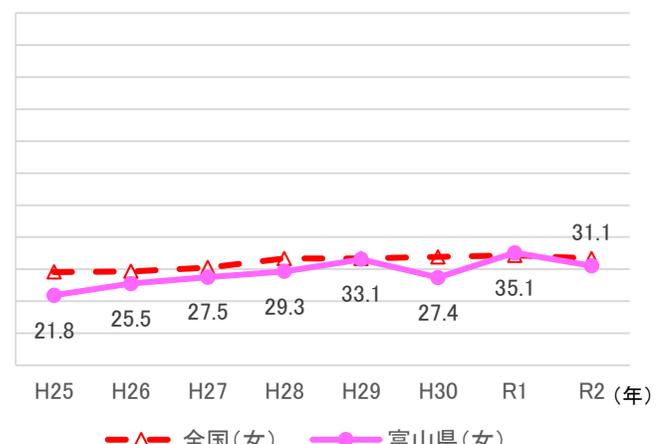
大腸がん



乳がん

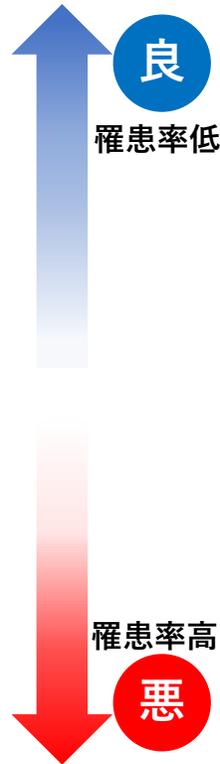


子宮がん



# がんの部位別年齢調整罹患率（人口10万対）全国順位

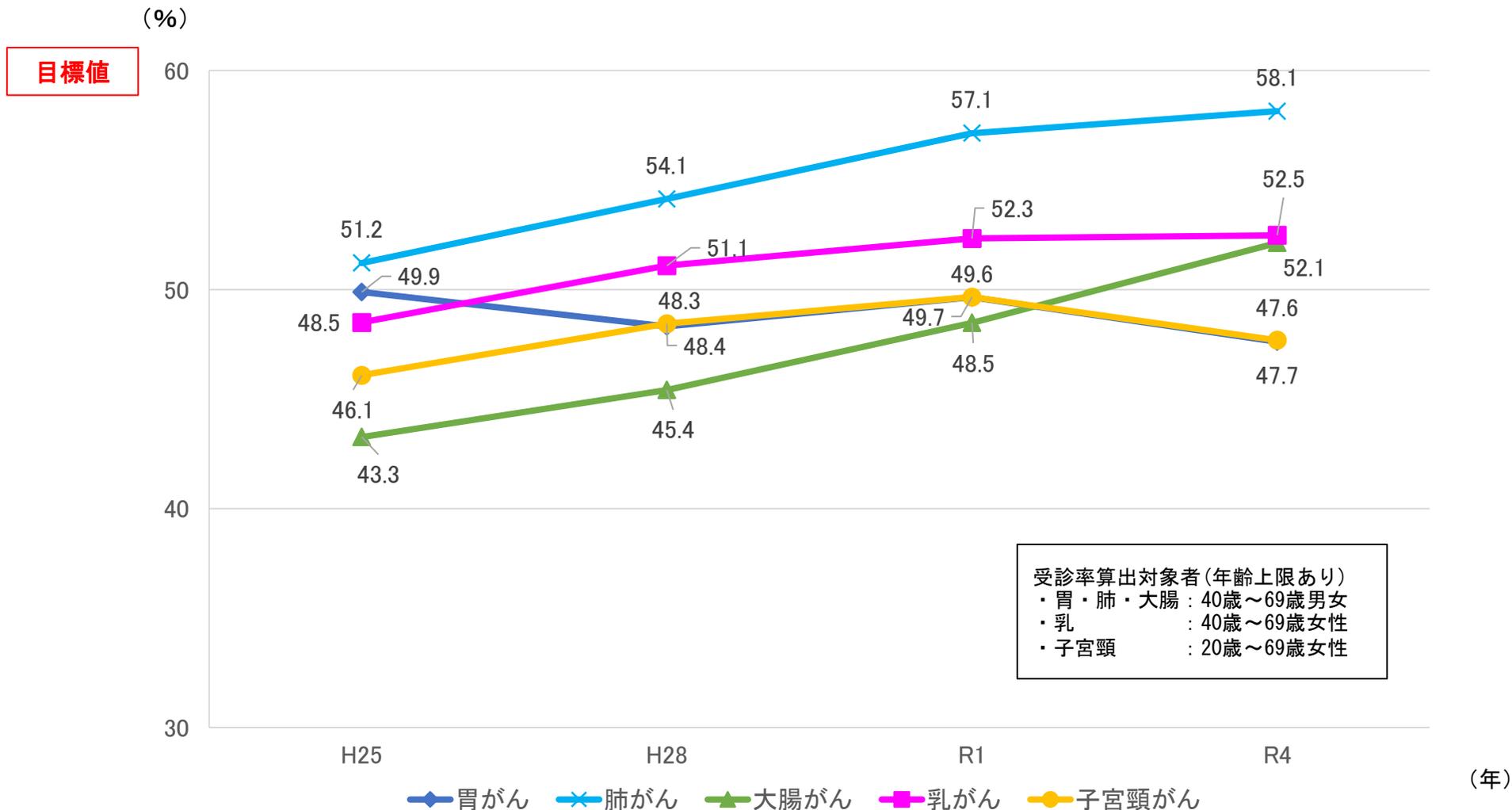
- 男性では胃、肺、大腸がんが全国下位である（罹患率が高い）。（R2）
- 女性では肝がん、子宮がんが全国上位である。（罹患率が低い）。（R2）



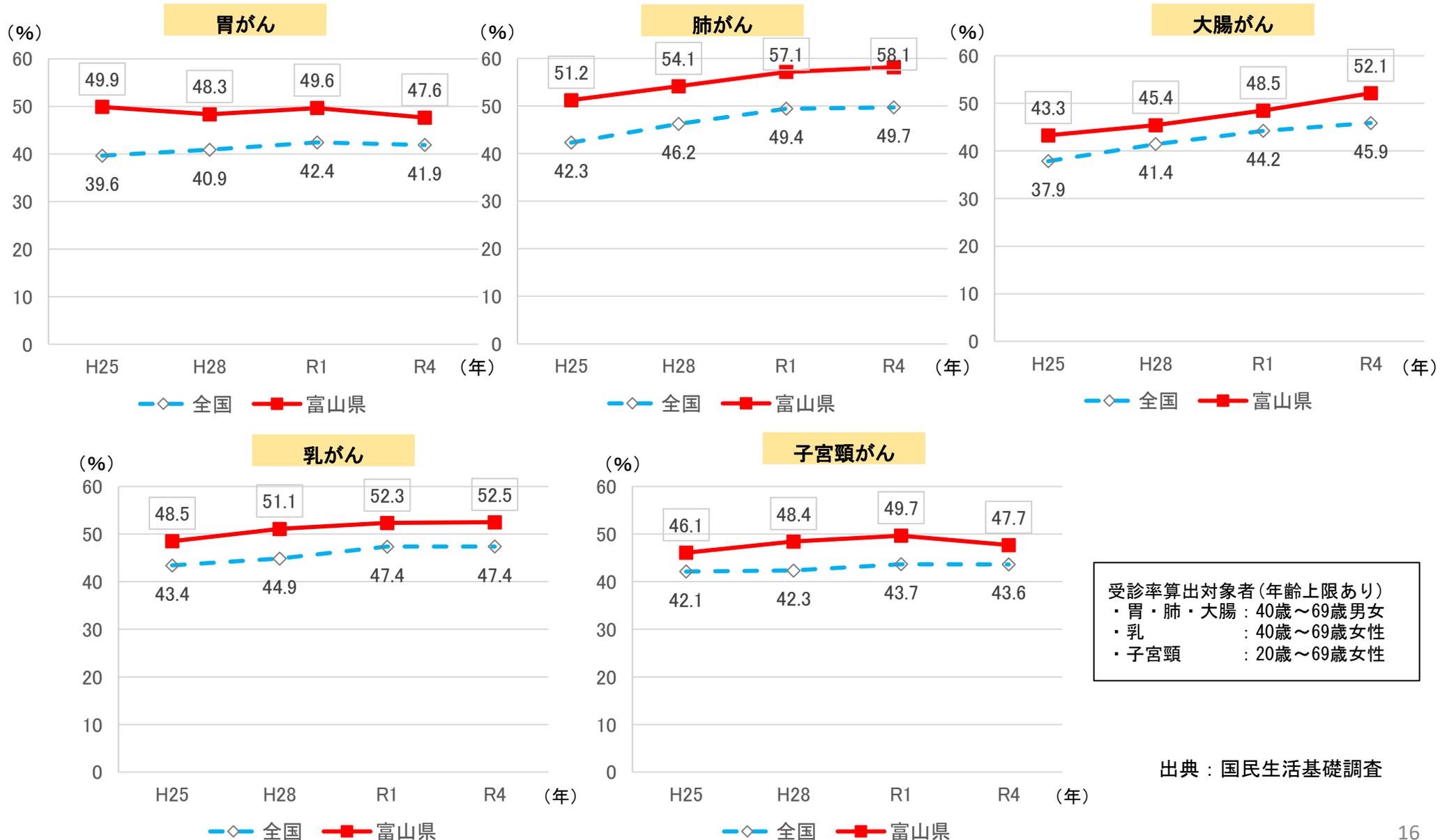
R2	胃がん (男女計)	肺がん (男女計)	肝がん (男女計)	大腸がん (男女計)	乳がん (女)	子宮がん (女)
1位	沖縄県	沖縄県	山形県	熊本県	島根県	石川県
2位	鹿児島県	長野県	新潟県	徳島県	福井県	島根県
3位	熊本県	群馬県	長野県	大分県	秋田県	滋賀県
4位	山梨県	静岡県	秋田県	長野県	和歌山県	徳島県
5位	静岡県	徳島県	愛知県	山梨県	滋賀県	新潟県
富山県 順位	36位 〔男38位 女31位〕	36位 〔男37位 女22位〕	12位 〔男21位 女5位〕	34位 〔男41位 女17位〕	23位	8位
43位	福島県	福岡県	和歌山県	長崎県	神奈川県	秋田県
44位	鳥取県	長崎県	福岡県	沖縄県	宮城県	栃木県
45位	秋田県	京都府	広島県	鳥取県	熊本県	高知県
46位	山形県	大阪府	佐賀県	青森県	東京都	宮崎県
47位	新潟県	北海道	愛媛県	秋田県	沖縄県	長崎県

出典：厚生労働省「全国がん登録罹患数・率報告」

○全ての部位において、**目標値(60%)に達していない**。(第4期計画で目標値を50%⇒60%に引き上げている。)  
 ○**肺、大腸、乳がん**は増加している(**改善傾向にある**)ものの、**胃がん**や**子宮頸がん**については、**減少傾向**にある。



○全ての部位において、全国値より上回っているが、目標値(60%)に達していない。



受診率算出対象者(年齢上限あり)  
 ・胃・肺・大腸：40歳～69歳男女  
 ・乳：40歳～69歳女性  
 ・子宮頸：20歳～69歳女性

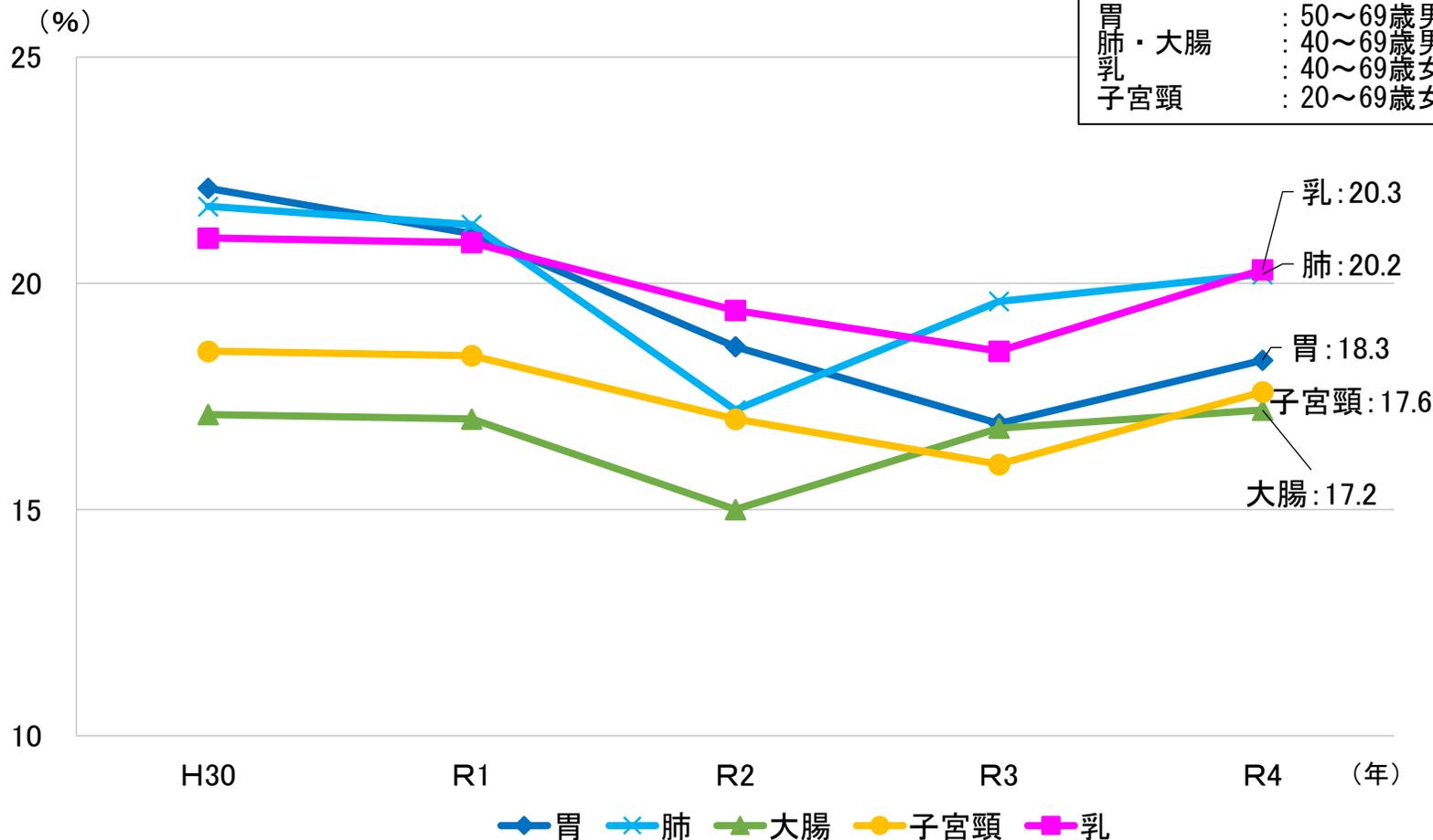
出典：国民生活基礎調査

# (市町村) がん検診受診率 (富山県)

○令和2年度には新型コロナウイルス感染症の影響と思われる受診控えにより、いずれのがん種の検診受診率も低下しているが、令和3年度から4年度にかけて回復傾向にある。

受診率算出対象者：国民健康保険被保険者

胃 : 50～69歳男女  
 肺・大腸 : 40～69歳男女  
 乳 : 40～69歳女性  
 子宮頸 : 20～69歳女性



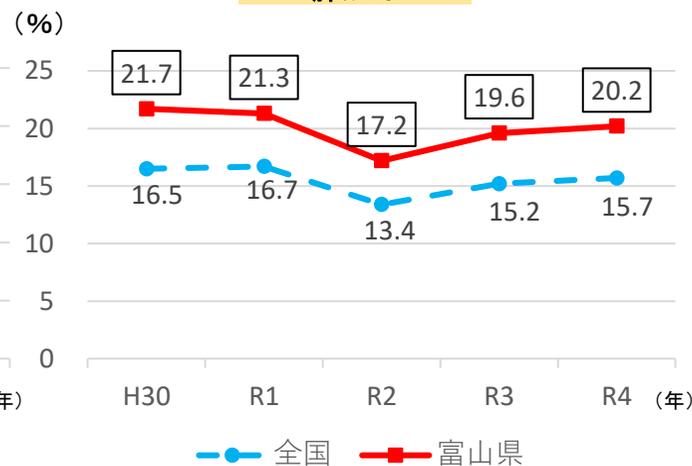
# (市町村) がん検診受診率 (部位別全国比較)

○すべての部位において、コロナ禍の受診控え(R2~R3)から受診率が回復傾向にあるが、  
**コロナ禍前の水準には戻っていない。(R4)**

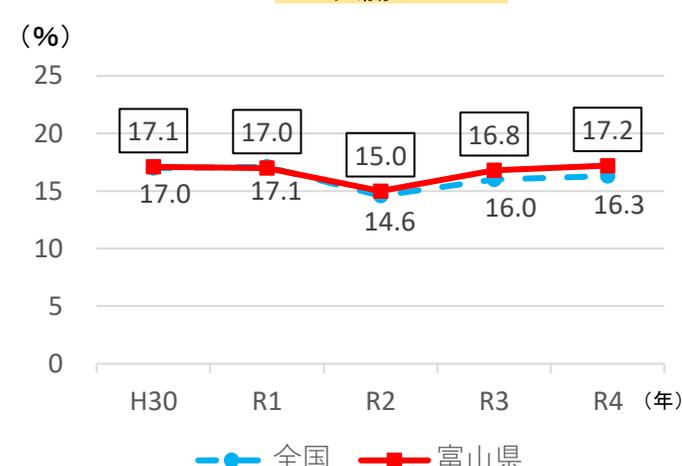
### 胃がん



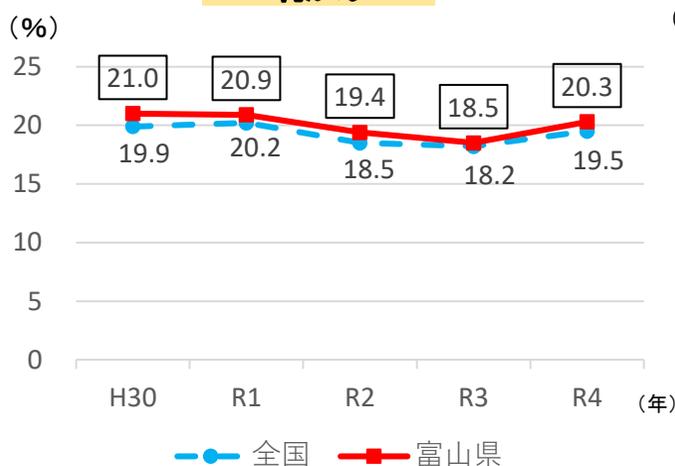
### 肺がん



### 大腸がん



### 乳がん



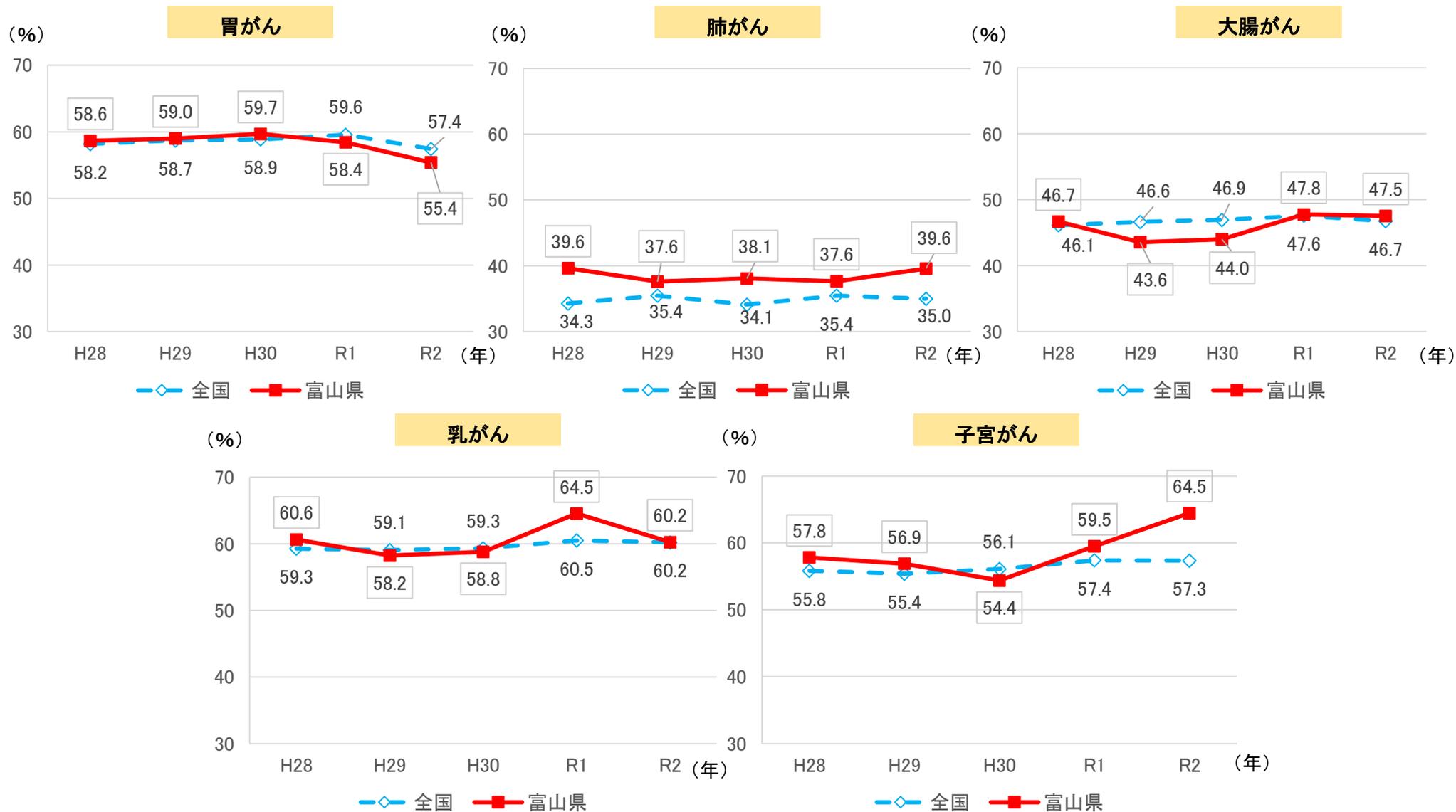
### 子宮頸がん



受診率算出対象者：国民健康保険被保険者  
 ・胃：50歳～69歳男女  
 ・肺・大腸：40歳～69歳男女  
 ・乳：40歳～69歳女性  
 ・子宮頸：20歳～69歳女性

出典：地域保健・健康増進事業報告

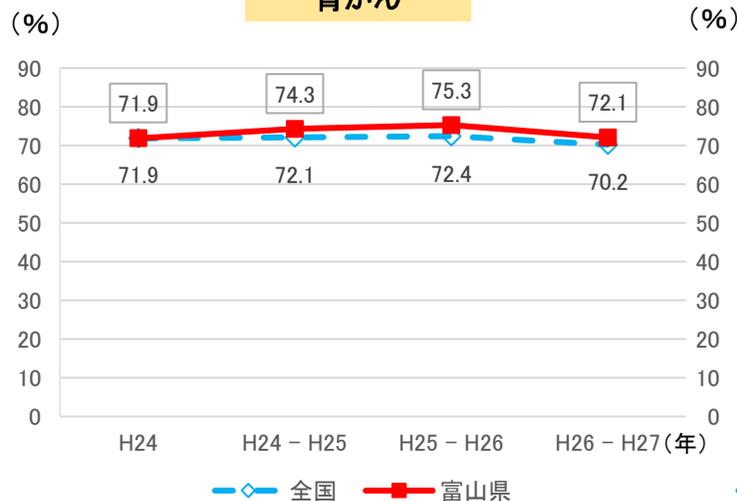
○ほとんどのがん種（胃がん以外）において、全国値より上回っている。（R2）  
 ○胃がんの発見率が減少傾向、子宮がんの発見率が増加傾向にある。



# がんの部位別 5 年相対生存率 (%)

○ほとんどのがん種において、全国値を上回っているが、**子宮頸がん**については、**全国値を下回っている**。

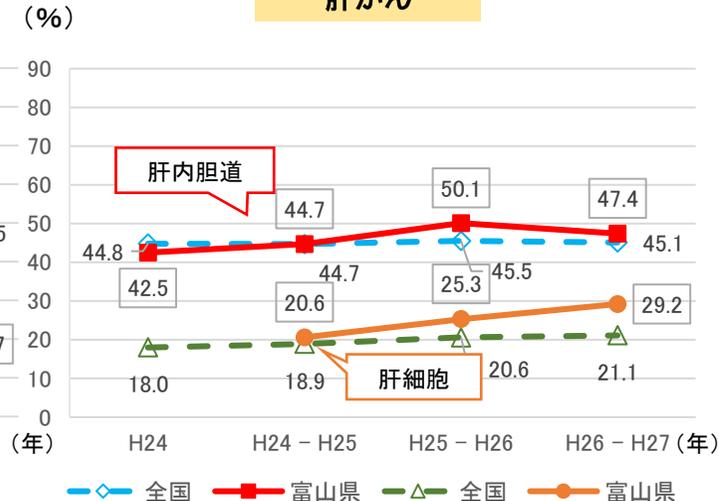
### 胃がん



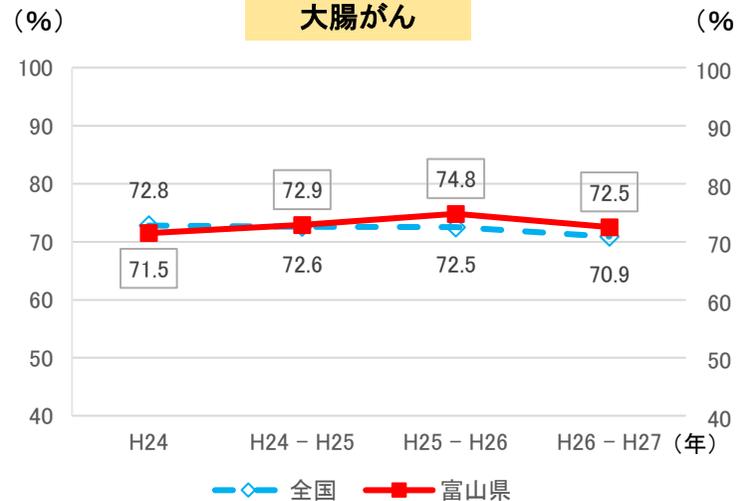
### 肺がん



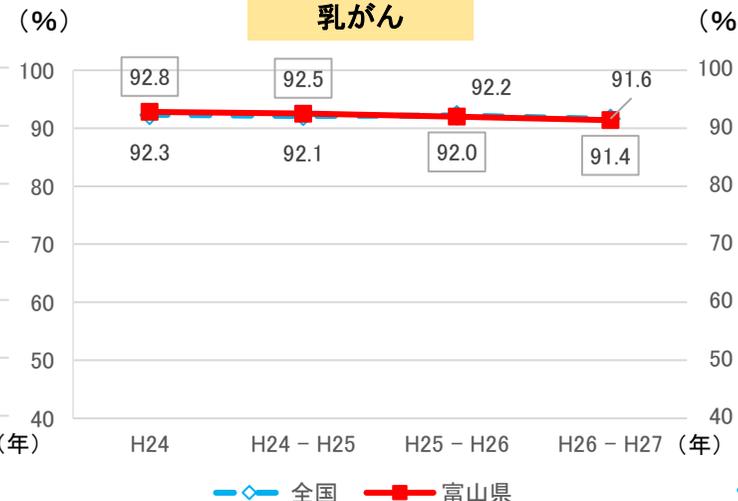
### 肝がん



### 大腸がん



### 乳がん



### 子宮がん

